

ジュエリーミュージアム

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

企画展

Color! Color! Color! —ジュエリーの色彩—

赤、青、緑、黄色、オレンジ、ピンク、紫などカラーストーンの色はそれ自体でも人々を魅了しますがジュエリーとして生まれ変わった時、その魅力は何倍にもなります。今回は、各色のカラーストーンを使った作品をはじめとして、色の組み合わせやデザインに工夫が凝らされたミックスカラーのジュエリーなどを展示し、季節感あふれる色彩美を紹介します。

開催期間／～6月15日(月)
観覧料／無料



ペンダント (ボヘミアンロック)



ペンダント (桃夭の風)



ブローチ (福光)



リング (Tube Band Ring)

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168

プラネタリウム番組

この星をもっと知りたいから、ぼくは一人、旅に出る。この星全体は、きみそのものだから…。世界を旅する男性が恋人に宛てた手紙を通して奇跡の星「地球」を情景豊かに描きます。



開催期間／～7月12日(日) 午後2時45分～3時30分
観覧料／大人310円、小・中・高校生120円(入館料別途)
幼児120円(入館料無料)
※土曜日は、高校生以下入館無料

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881
FAX 055-266-3882

甲斐のSAMURAI ゆかりの遺跡 —城・館・屋敷・墓—

室町時代から江戸時代にかけて活躍した、山梨県ゆかりの武士をテーマにした展示です。彼らに関連する城や館・屋敷の発掘調査で発見された遺物、ゆかりの遺跡、彼らの眠る墓などを紹介します。



兜前立て(二本柳遺跡 南アルプス市)

開催期間／4月25日(土)～6月14日(日)
観覧料／無料

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6202
FAX 0555-72-6183

もりのおはなしかい ～絵本の読み聞かせ～

幼児から小学校低学年の子どもたちに、絵本を通して自然に触れ親しんでもらいます。「おはなしかい」の30分前には「おりがみ教室」も開催します。



森の中での読み聞かせ

開催日時／4月12日(日)、5月10日(日)、6月21日(日)、7月12日(日)
①午前10時30分～ ②午後2時～
参加料／無料

県立図書館

甲府市北口2-8-1
TEL 055-255-1040
FAX 055-255-1042

資料紹介展示 こどもにすすめたい本 2015

県内図書館の司書が推薦する2014年に出版された児童書を紹介します。また、本の内容を説明したブックリストを無料で配布します。



昨年の展示の様子

開催期間／4月22日(水)～5月12日(火)
観覧料／無料

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

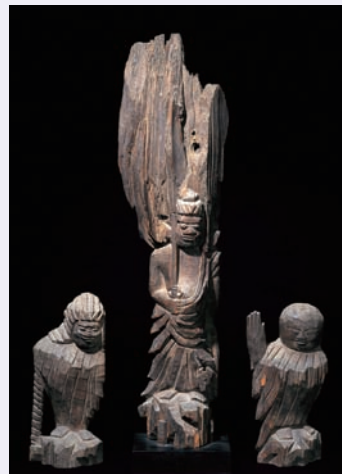
開館10周年記念特別展 微笑みに込められた祈り 円空・木喰展

身延町古閑出身の木喰は、全国行脚しながら各地で仏像を彫り残した作仏聖として知られています。1000体に及ぶ像を制作したといわれ、現在は720体ほどが確認されています。多くが満面の笑みを浮かべていることから「微笑仏」と呼ばれ、人々を魅了し続けています。今回は同じく作仏聖として名高い円空の作品も、併せて紹介します。

開催期間／3月28日(土)～5月18日(月)
観覧料／一般1,000円、大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



木喰作「子安観音菩薩」(愛知県 徳蔵寺蔵)



円空作「不動三尊」(栃木県 清瀧寺蔵)

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

特別展 夜の画家たち — 蝋燭の光とテネブリスム —

西洋美術が頂点に達したバロック期に流行したテネブリスム。これは、夜や闇に差す光や炎によって、対象を浮かび上がらせる技法です。今回の展示では、江戸時代の亜欧堂田善から、近代の高橋由一、山本芳翠を経て高島野十郎まで、この技法に魅了され日本のテネブリスムともいべき独自の明暗表現を手掛けた、日本の「夜の画家」たちの作品を紹介します。

開催期間／4月18日(土)～6月14日(日)
観覧料／一般1,000円、大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



近藤浩一路(下京の夜) 1913年(山梨県立美術館蔵)

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

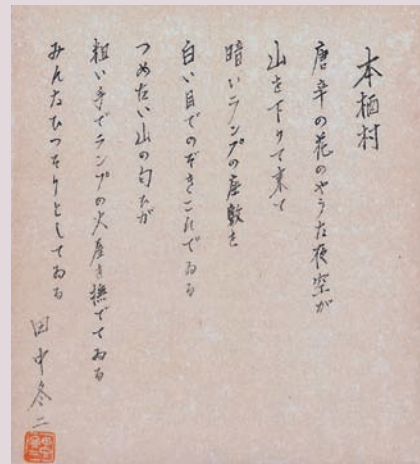
特設展 田中冬二展 なつかしい日本の風景

田中冬二は、懐かしい日本の風景や人々の暮らしの記憶を、優しく清澄な言葉で歌った詩人です。第一詩集『青い夜道』以降、生涯に18冊の詩集を刊行しました。山梨では早川町奈良田、富士北麓、八ヶ岳南麓などを訪れ「河口村」「本栖村」「山郷」「富士ビューホテル」などの詩を残しました。直筆原稿・草稿、ノート、書画、書簡などとともに、その作品の魅力を紹介します。

開催期間／4月25日(土)～6月21日(日)
観覧料／一般320円、大学生210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



田中冬二(1894～1980年)
福島市生まれ 本名は吉之助



詩「本栖村」色紙 「青い夜道」所収の詩の第一聯